



# 新・みやぎ・シー・メール第28号

発行：令和2年1月31日

宮城県水産技術総合センター 〒986-2135 宮城県石巻市渡波字袖ノ浜 97-6

TEL: 0225-24-0159 FAX: 0225-97-3444

## 宮城県のノリ養殖について

企画・普及指導チーム

### 皇室に献上される宮城県のノリ

ノリは1年生の紅藻類で潮間帯（満潮時に海水に浸り、干潮時に空気に曝される場所）に生息する古くから食用として利用されてきた日本人になじみの深い海藻です。江戸時代には、浅い海の底にヒビと呼ばれる木や竹を差し込んで、天然に付着するノリを収穫しており、東京の目比谷の地名の由来となったと言われてしています。

令和2年1月11日に塩竈神社において塩竈神社奉獻第72回乾海苔品評会感謝祭並びに表彰式が開催されました（主催：産業振興大祭協賛会、宮城県漁協、塩釜市漁協）。県内で生産された乾ノリ103点の中から選ばれた最高賞（県知事賞）、準優賞（塩釜市長賞）のノリは、皇室に献上される歴史ある品評会です。

### 宮城県のノリ養殖

国内の養殖ノリ（スサビノリ）の主な産地は有明海、瀬戸内海、愛知県、千葉県、宮城県等で、宮城県はノリ養殖の北限となるため、全国で最も早くノリの生産が行われます。宮城県では、お盆を過ぎた8月下旬から、各浜でノリ網に殻胞子（種）を付着させる作業が行われます（写真1）。



写真1 ノリ網への種付け作業

漁場の水温が23℃下回る9月下旬になると松島湾内で、種を付けたノリ網を支柱柵等に張り込み、潮汐による干満等で適度な干出を与えながらノリの芽を育てる育苗作業が行われます（写真2）。



写真2 松島湾内のノリ網の育苗

芽が育ったノリ網は、石巻、矢本、鳴瀬、松島湾外、七ヶ浜、仙台、亶理などの各漁場で、海面に張り込む浮き流し式と呼ばれる方法で養殖が行われ（写真3）、12月から4月にかけて収穫されたノリは乾ノリに加工され、「みちのく寒流のり」のブランドとして流通しています。



写真3 浮き流し式によるノリ養殖

### ノリ漁場調査による情報発信

当センターでは仙台地方振興事務所水産漁港部や宮城県漁協と協力しながら、育苗期（9～10月）の松島湾内の漁場、生産期（10～12月）の松島湾外から七ヶ浜、仙台の漁場において、水温、比重、栄養塩濃度、ノリの生育状況等について調査を行い、生産者へノリ養殖通報を発行して情報提供を行っています。近年、温暖化等の影響により全国的にノリの不作が続いています。今後も詳細な調査結果を情報提供することで、本県のノリ養殖生産と生産者の経営安定化に寄与したいと考えています。

厳しい寒さの中、生産者の皆さんが丹精込めて育てた「みちのく寒流のり」を是非ご賞味下さい。

宮城県水産技術総合センター

ホームページ URL: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>